



あのとときの常呂・写真館

VOL 163

(2003年)

平成15年3月23日

ところ町民舞台第20回「浜に生きる」公演

▶ところ町民舞台の記念すべき第20回公演のことは、「広報ところ」4月の〈まちの話題〉のコーナーで舞台の写真を付けて「…今年作品は、ホタテ漁の四輪採制（養殖）がまだ始まっていない時代を舞台にした、ある漁師の一家の物語〔浜に生きる〕を上演。出演者の熱演に、会場を訪れた約150人の観客は、惜しみない拍手を贈っていました」と伝えています。●常呂町の開基百年の昭和58年度から始まり、一度も休むことなく20回目を迎えた町民手づくりの演劇は、残念ながらこの年で終わりを迎えますが、演劇文化ばかりではなく、地域の埋もれた歴史のひとこまを掘り起こす役割も果たしていました。●ページの最後には第1回からの上演リストを付けました。また、リストには、常呂図書館が所蔵している資料の有無も記載しているので、町民舞台を振り返るときに役立ちます。



*上：公演終了後のキャストによる舞台あいさつ



第20回記念
ところ町民舞台

創作劇
浜に生きる



とき 2003年3月23日(日)
午後3時開演
ところ 多目的研修センター
入場料 300円(幼児無料)

主催 第20回記念ところ町民舞台実行委員会
後援 常呂町教育委員会
常呂町文化連盟

*上：プログラム表紙

*上・右・下
舞台公演のようす



■ところ町民舞台公演のあゆみ

*会場は常呂町多目的研修センター

*常呂図書館には、関連する広報・新聞記事・写真など多数の資料があります

回数	タイトル	公演年月日
第1回	第1回町民舞台「森と海と湖の中で」上演 第1部：古代編「ところの夜明け」 語りと音楽、踊り 第2部：開拓編「拓けゆく道標」 演劇「常呂川」 第3部：現代から未来編 「はばたけところ」合唱と演奏	昭和58年11月26日
第2回	オホーツク本線	昭和60年3月30日
第3回	鉄山	昭和61年3月21日
第4回	海、その愛、ふるさとおまえは	昭和62年3月21日
第5回	流水の来る街	昭和63年3月19日
第6回	海に生きる	平成元年3月25日
第7回	囚人の詩	平成2年3月24日
第8回	オホーツクの海に蜃気楼を見た ----- 姉妹町の高知県佐川町で同作品公演	平成3年3月21日 ----- 3月24日
第9回	秋味のうた	平成4年3月20日
第10回	川は語る我が郷土ところを	平成5年11月13日
第11回	兄ちゃんの帰省	平成6年3月26日
第12回	つうの顔をみせない夕鶴	平成7年3月25日
	ところ町民舞台が95年度北海道地域文化 選奨特別賞受賞（贈呈式：穂別町）	平成8年2月10日
第13回	召集令状…常呂にも空襲があった	平成8年3月23日
第14回	常呂遺跡の発見	平成9年3月22日
第15回	武四郎登古呂を行く 松浦武四郎日記から	平成10年3月22日
第16回	明日天気になあれ	平成11年3月21日
第17回	雨のち虹の町 ある獣医の記録より	平成12年3月26日
第18回	常呂川…常呂川汚水防止対策漁民大会より ----- 北の舞台芸術祭（札幌市）参加、同作品公演	平成13年2月21日 ----- 2月24日
第19回	かしわならの詩	平成14年3月24日
第20回	浜に生きる	平成16年3月22日